

祝！海外初進出

# バンコクにオープン！ かんてきやスクンビット店

ウチヤマグループ史上初の海外事業となる日本食居酒屋「かんてきやスクンビット店」がタイのバンコクにオープンしました。

今年八月に日本の金融機関系現地法人と共同で合弁会社ボナーライランドを設立し、ボナーの森常務が代表となつて準備に取り掛かってきました。日本からは森常務の他に渡邊店長、石原料理長が赴任し、タイ人のスタッフ十二名を現地で採用して研修を行いました。現地の言葉しか話せないスタッフが多く、文化の違いもあって、最初は「コミュニケーション」にも苦労しましたが、少しずつ日本式のおもてなしや料理について理解してくれるようになりました。

場所はバンコクの中でも繁華街にある「ジャスミンシティ」というホテルやオフィスが入った大きなビルの地下一階にあります。日本人駐在員が多く滞在していることもあり、オープン以来連日多くの日本人、タイ人のお客様が訪れています。まぐろを使った和食のメニューを中心に、日本の居酒屋で提供している食事やコース料理なども提供し、毎週火曜日にはマグロの解体ショーを実施してお客様に喜んで頂いています。イベントの様子など

はフェイスブックでも更新され、「」でも人気が広がっています。

第一号店の出店をきっかけに、東南アジアでの多

店舗展開を見据えて、今後は現地の情報収集と営業ノウハウの構築を進めます。バンコクへ観光などで訪れた際は、ぜひ一度お立ち寄りください。



右側: 渡邊店長



左から2人目: 石原料理長



森常務



(渡邊朋子)

ジャスミンシティの外観



kan-teki-ya

Japanese Dining

**TEL.02-261-6490**年中無休  
全55席

営業時間

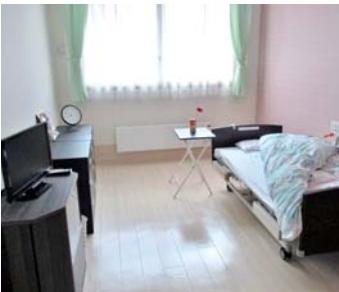
[ランチ] 11:00~16:00 [ディナー] 17:00~24:00



海外一号店をオープンし  
私たちの思っていた以上にお客様に来店頂いています。  
その期待に応えられるよう日々全員でお客様に「おもてなし」「感謝」の心で接遇を行い、日本にいる仲間の期待にも実績で応えていきます。（森淳一郎）

タイの皆様に日本のおもてなしとOISHI～！をお届けしたいと思っております。また私自身もタイの文化、言葉、そしてアロイ（美味しい）を勉強して参ります。（石原稔）

海外第一号店でバンコクでナンバー一のお店を目指してスタッフ一同協力して頑張ります。たくさんのお客様に喜んで頂けるお店にしていきます！



# さわやか 室蘭館開所!

平成26年12月1日、北海道室蘭市に「さわやか室蘭館」が開所しました。介護付有料老人ホーム100床、ショートステイ10床、合計110床の複合施設で、さわやか倶楽部としては北海道で2施設目の開設となります。全室個室になっており、入居者様の生活を24時間サポートできます。建物は地上4階建てで、1階には広々とした多目的ホールがあり、2~4階がお客様のお住まいになられるフロアとなります。各階ともにお風呂はラジウム泉で、健康増進はもちろん美容や療養リハビリにも効果的で、身も心もリラックスできます。

完成披露を兼ねた内覧会には、入居予定の方も含めて約500名のお客様が来館されました。また、開所直前には、室蘭市の青山剛市長も見学に訪れ、開所にあたっての祝福と励ましのお言葉をいただきました。



**さわやか室蘭館**  
〒051-0016 北海道室蘭市幸町9番8号  
**0143-83-5200**

交通アクセス  
JR室蘭本線・室蘭駅より徒歩約10分  
道南バス・小公園前バス停より徒歩約5分  
道央自動車道・登別室蘭ICより車で約20分

## 施設長からのご挨拶



北海道上川郡の『さわやか東神楽館』より異動となり、この度『さわやか室蘭館』に赴任させて頂きました。地域の皆様にはどこへ行っても温かく受け入れてください、感謝しています。

さわやか倶楽部の基本理念でもあります『慈愛の心・尊厳を守る・お客様第一主義』を胸に、お一人様お一人様との出会いを大切にして毎日を楽しく活気あるものにし、地域から必要とされる施設を作っています。(松崎健一)

## 実践!! ノルディック ウォーク Part5 “塵も積もれば、山となる”



歩くことの大切さはわかっていても、それを行動に移すことは難しいではないでしょうか?『さわやかリハビリティサービス清田』では利用者様にたくさん歩いてもらうために「目指せ皇居!!」という取り組みを行っています。これはみんなで歩いた移動距離を測定し、清田館から皇居まで目指す活動です。お一人で一日数百メートル歩かれる方もいれば、平行棒歩行の片道3メートルの方もいらっしゃいます。平成24年7月から開始して、全員の合計ですでに1000kmを突破しました。特に頑張った方は毎月表彰を行っており、それを励みに歩行を続けている方もおられます。

独歩の方・杖の方・歩行器の方・平行棒で歩く方・ノルディックウォークの方・車椅子走行の方・他の方に車椅子を押してもらい移動する方

など、方法は様々ですが、多くの方が毎日14時の「365歩のマーチ」の音楽を合図に、お互いに誘いあい大移動が始まります。  
(理学療法士・柴田としえ)

関相談員からの  
コメント

一緒に皇居まで目指す飛び入り参加の方を募集中です。  
私達と一緒に歩きましょう!

**さわやか  
リハビリティサービス清田**  
福岡県北九州市八幡東区清田3-4-7 ☎ 093-654-2700

# キラリ等星

スタッフをご紹介します。



STAR  
No.84

株式会社さわやか俱乐部  
本社運営部

なかやしげる  
**中矢秀さん** 26歳

頂くだけで感謝しています。」とゆっくり、優しく言つて下さいます。頑張ってきた自分が認められるようで一気に感情が溢れ出し、嬉しくて泣いてしまうことがあります。

四月に入社して本社で勤務し、十二月から北海道の「さわやか東神楽館」に赴任してきましたが、内山社長をはじめ、竹村専務、吉岡部長、川村部長などから

「飯は食ったか?おまえがいない寂しいぞ。」と電話がかかります。また、お世話になつてある施設の事務員さんなど様々な方から「元気ですか?」などとメールやお手紙をいただけます。介護という仕事をする上の生きがいとはまた違った嬉しさがあります。この支えがあるからこそ、元気に仕事を続けることができます。

さわやか俱乐部が船井総合研究所の「グレートカンパニーワン賞」を受賞した際の表彰式に参加されていました。そのご両親より「この会社凄いよ」と一言、私の元にメールが届きましたので、経営者に会つてみたくなり、「わかりましたでは社長に会つてみます」とメールを返信しました。そしてすぐにさわやか俱乐部へ電話し、「社長に会えませんか?」と話をしました。それが内山社長との最初の出会いとなり、ウチヤマグループとの出会いになりました。

当時は静岡にて、北九州の本社へ足を運ぶことはとても緊張する想いででした。しかし、内山社長をはじめ多くの先輩方が喜んで歓迎して下さり、さらには食事会まで開催して下さり、感動したのを覚えています。その一年後、大学の理学部で細胞分裂や寿命と老化の研究をしていた私は、研究よりも人と触れ合い、孤独や弱さ、切なさを支えるような仕事をしたいと考えたところ、すぐには内山社長や先輩方の顔を思い出し、入社を志願しました。

入居者様のケアをさせて頂いているつもりが、逆に私がケアされていると感じることが多々あります。私たちは日ごろ、生産性のある仕事を生み出し、挑戦していく「もっと喜んで頂くためには?」と様々なアイディアを考え実践しています。でも、うまくいかない時つたたくさんあるんです。そんな時に入居者様が「ええんよ、そんなに頑張らなくても。私たちはここに居させて

さわやか俱乐部が船井総合研究所の「グレートカンパニーワン賞」を受賞した際の表彰式に参加されていました。そのご両親より「この会社凄いよ」と一言、私の元にメールが届きましたので、経営者に会つてみたくなり、「わかりましたでは社長に会つてみます」とメールを返信しました。そしてすぐにさわやか俱乐部へ電話し、「社長に会えませんか?」と話をしました。それが内山社長との最初の出会いとなり、ウチヤマグループとの出会いになりました。

当時は静岡にて、北九州の本社へ足を運ぶことはとても緊張する想いででした。しかし、内山社長をはじめ多くの先輩方が喜んで歓迎して下さり、さらには食事会まで開催して下さり、感動したのを覚えています。その一年後、大学の理学部で細胞分裂や寿命と老化の研究をしていた私は、研究よりも人と触れ合い、孤独や弱さ、切なさを支えるような仕事をしたいと考えたところ、すぐには内山社長や先輩方の顔を思い出し、入社を志願しました。

入居者様のケアをさせて頂いているつもりが、逆に私がケアされていると感じることが多々あります。私たちは日ごろ、生産性のある仕事を生み出し、挑戦していく「もっと喜んで頂くためには?」と様々なアイディアを考え実践しています。でも、うまくいかない時つたたくさんあるんです。そんな時に入居者様が「ええんよ、そんなに頑張らなくても。私たちはここに居させて

さわやか俱乐部が船井総合研究所の「グレートカンパニーワン賞」を受賞した際の表彰式に参加されていました。そのご両親より「この会社凄いよ」と一言、私の元にメールが届きましたので、経営者に会つてみたくなり、「わかりましたでは社長に会つてみます」とメールを返信しました。そしてすぐにさわやか俱乐部へ電話し、「社長に会えませんか?」と話をしました。それが内山社長との最初の出会いとなり、ウチヤマグループとの出会いになりました。

当時は静岡にて、北九州の本社へ足を運ぶことはとても緊張する想いででした。しかし、内山社長をはじめ多くの先輩方が喜んで歓迎して下さり、さらには食事会まで開催して下さり、感動したのを覚えています。その一年後、大学の理学部で細胞分裂や寿命と老化の研究をしていた私は、研究よりも人と触れ合い、孤独や弱さ、切なさを支えるような仕事をしたいと考えたところ、すぐには内山社長や先輩方の顔を思い出し、入社を志願しました。

入居者様のケアをさせて頂いているつもりが、逆に私がケアされていると感じることが多々あります。私たちは日ごろ、生産性のある仕事を生み出し、挑戦していく「もっと喜んで頂くためには?」と様々なアイディアを考え実践しています。でも、うまくいかない時つたたくさんあるんです。そんな時に入居者様が「ええんよ、そんなに頑張らなくても。私たちはここに居させて

## 村の教会のクリスマス劇

アメリカのある村に、白い十字架の、小さな教会がありました。日曜日の朝、やわらかな太陽の中十字架が浮かび上がると、カラソコロン、カラソコロンと、鐘の音が村中に響き渡ります。すると、あつぶりと暮れています。あの男の子が立つている宿屋の家からも、こつちの牧場からも、聖書とさんび歌をかかえた人たちが姿を現します。おじいさんもおばあさんも、小さな子どもたちも、赤ちゃんとみんな、家族そろつて白い十字架の教会にやつてきました。こつして教会はいっぱいになり、村はからっぽになるのでした。

ある年の十二月のはじめのことでした。クリスマスの日に毎年行われる、イエスマの誕生劇を、その年は子どもたちが担当することになつていました。そこで、教会学校の先生たちは、子どもたちを全員集めて、その劇の相談をしました。そして役割を決めました。マリヤさんが、ヨセフさんが、羊飼いさんたちが、東の博士たちが、牛、馬、羊、天の使い、次々に決まりました。子どもたち全員に役がついたと思ついたら、知恵遅れの子が役からもれています。そこで、気がづきました。先生たちは相談をして、その子のために役をつくりました。それは、馬小屋のある宿屋の子どもの役です。セリフは「だめだ。部屋がない」と。そして、うしろの馬小屋を指さすのです。

「だめだ。部屋がない」と。そして、うしろの馬小屋に行かないで。馬小屋は、寒いから。イエスマが風邪を引いちやうから。馬小屋に行かないで、馬小屋に行かないで。教会学校の先生たちが舞台にとびあがりました。そして、マリヤさんにしがみついて泣いている男の子を引き離しました。劇は、だいじなところで、しばし中断してしまいました。

ところが、長い村の歴史の中で、これほど感動的なクリスマス劇は、あとにも先にもありませんでした。

(岸義紘著「クリスマスをあなたに」より)

ハートフルストーリー

マス劇です。そうして、その劇も、最後の場面を迎えた。長旅で疲れ果てたヨセフとマリヤが、とぼとぼ歩いて、ベツレヘムにやつてきました。日はとうぶりと暮れています。あの男の子が立つている宿屋にたどりつきました。

「すみません。私たちを一晩とめてください」さあ、男の子の番です。おとうさんも、おかあさんも、教会学校の先生たちも、思わず手を組んで、神様にお祈りをしました。

「神様、うまくできますように……」男の子は、大きな声でいました。それから、うしろをむいて、馬小屋を指さしました。

「やれやれ、よかつた。じょうずにできた」みんな胸をなでおろした直後のことでした。

馬小屋に向かって、肩を落として歩いて行くヨセフとマリヤをじつと見送っていたその男の子が、突然

ワットと声をあげて泣き出したではありませんか。男の子は走り出しました。そして、なきながらマリヤさんにしがみつきました。

「マリヤさん、ヨセフさん、馬小屋に行かないで。馬小屋は、寒いから。イエスマが風邪を引いちやうから。馬小屋に行かないで、馬小屋に行かないで」

教会学校の先生たちが舞台にとびあがりました。そして、マリヤさんにしがみついて泣いている男の子を引き離しました。劇は、だいじなところで、しばし中断してしまいました。

ところが、長い村の歴史の中で、これほど感動的なクリスマス劇は、あとにも先にもありませんでした。

ウチヤマグループで働く皆さんの  
日報をご紹介します。

## ベスト日報賞



鳥飼由紀さん

コロッケ倶楽部 高須店  
福岡県北九州市



梶郷代さん

さわやか  
グループホームなかばる  
福岡県北九州市



林拓実さん

(株)ウチヤマホールディングス  
本社総務部

連休最終日となりますが、午前中は来店されるお客様も少なく、とても落ち着いた営業となりました。午後を過ぎてから、多くのお客様が来店され、満室状態となりました。精算時は、BOXランチを頼まれたお客様から「ランチおいしかったよ」と言って頂き、私自身とても嬉しかったです。

高須店に異動してから二年半になりますが、お客様からの予約の電話があるときにお客様の声や希望の部屋を聞くだけで、お客様の名前やコースなども覚えることができました。仕事をしていく中で、お客様の笑顔を見ると、私自身も嬉しい気持ちになります。これから多くのお客様にご来店して頂けるようにたくさんのお客様を笑顔にしていきたいです。より良い接客が出来るように努めます。

先日、ご入居者様15名と職員8名で別府のさわやかハートピア明礬へ温泉旅行に行きました。入居者様は何日も前から、とても楽しみにされていました。私は初めての参加でしたが、お天気にも恵まれてとても良かったです。

反省点も色々ありましたが、帰りのバスの中で、ご入居者様皆さんに感想をお聞きしました。皆様「楽しかった」「たくさん笑ったね」と答えて下さったのがとても印象的でした。ご入居者様18名を温泉旅行にお連れすることは簡単なことではありませんが、だからこそ、ご入居者様の「楽しかった」という言葉が、とてもうれしかったのだと思います。これからも職員全員で協力し、毎日の生活の中で、皆様が充実した日々を送れるように出来ればと思います。

私は、3人兄弟の長男として生まれました。両親や親戚も初めての赤ちゃんということもあり、深い愛情をもって育ててくれました。

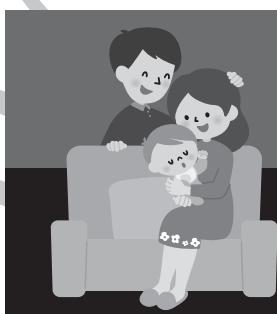
幼少の頃、町内の花火大会に両親と参加し、手持ち花火をして楽しく過ごしていました。初めて見る花火があまりにも綺麗だったのか、両親が一瞬目を離した隙に、わたしはその花火を顔に近づけてしまい、顔に大きな火傷を負ってしまいました。両親は血相を変えて、私を抱きかかえ、急いで近くの病院へ運んでくれました。当時、母はあまりにも急な出来事に涙を流して心配していたそうです。そんな母と火傷の痛みで泣き止まない私を支えてくれたのは、ほかの誰でもない父でした。幸い、両親の迅速な対応によって、火傷もそこまでひどくならず、その傷痕も今ではすっかり消えて、元気に過ごせています。

父の影響もあり、小学1年生から大学を卒業するまで剣道一筋に学校生活を送っていました。毎朝6時に父に起こされ、自宅の庭先で剣道の素振りをしていました。小学生の頃は「眠いからやりたくない」という日もありましたが、父は「何事も自分でやると決めたら毎日継続する事が大切なんだ」と、とても厳しく叱られたことを覚えています。当時の私は、ただ父に叱られるのが嫌で仕方なく素振りに取組んでいましたが、中学、高校と進むうちに同級生との差が明らかになっていました。技術は勿論ですが、父に「何事にも動じない精神力が大切なんだ」と言われた時、掛けずに続けて良かったと感動しました。

私が誰かを傷つけてしまった時、誰よりも叱ってくれたのは母でした。また、私が何かやり遂げたとき、誰よりも喜んでくれたのも母でした。今の私が、元気にまっすぐに生きていけるのは両親のおかげです。

そんな父と母の愛情を目一杯に受けて、今の私があります。ここまで育ててくれた両親には言葉では表せないくらい深く感謝しています。まだ親孝行らしいことは出来ていませんが、今年の4月に入社したウチヤマグループで、しっかり社会貢献できる人財へと成長し、より質の高いサービスを提供することが両親に対しての感謝の気持ちの恩返しにつながればと考えています。

お父さん、お母さん、産んでくれて、育ててくれて、本当にありがとう。



産んでくれて、育ててくれて、ありがとうございました。  
両親へ、感謝の気持ちを込めて。

## ハートピア明礬&別府の里

# しわす 節走の別府!

クリスマスも近づきクリスマスが終わればお正月です。ハートピア明礬6年、別府の里は4年を経過することが出来ました。ご利用いただいた皆様のおかげと、従業員一同心より感謝申し上げます。来る2015年も「さわやかの宿」ご愛顧の程宜しくお願ひ致します。

ますます寒い季節になってきます。寒い時期の温泉は格別です。明礬温泉・ハートピア明礬の「硫黄泉」と「炭酸水素塩泉」、堀田温泉・別府の里の「濃度の濃い炭酸水素塩泉」、どちらの温泉も最高の湯で、ゆっくりと温まっていただけます。

温泉に入った後は、この12月よりメニューを一新した「冬プラン!」でおなかに喜んで頂きます。「ハートピア明礬」「別府の里」のいずれも宴会場を持っていますので、仲間内での望年会・新年会を兼ねたご旅行のご宴会も可能です。

温泉以外にもカラオケや卓球もあり、お子様にも楽しんでいただけます。別府でこの一年の疲れをいやして、笑顔で新年を迎えましょう!

従業員一同、ご来館心よりお待ちいたしております。(川田 務)



さわやかハートピア明礬



さわやか別府の里

明礬温泉  
さわやかハートピア 明 磬

別府堀田温泉  
さわやか 別府の里

大分県別府市大字鶴見1190番地の1

大分県別府市堀田4-2(堀田温泉)

Tel.0977-66-1321

Tel.0977-26-1117

プランの詳細はウェブでもご確認いただけます!

→ [www.sawayaka-hotel.jp](http://www.sawayaka-hotel.jp)

## ソフトバンクニュース

みなさんこんにちは。12月に入り、クリスマスやお正月の準備と楽しい思い出を作る事の出来る季節となりました。冷たい風を心地よく感じながら毎日お元気にお過ごしのことと思います。

今回は、ご家族やご友人との楽しいひと時を思い出として残すにはピッタリの一台をご紹介いたします。

美しいデザインと2,070万画像の高機能カメラ搭載の高性能スマートフォン「Xperia Z3」のご紹介です。SONY製スマートフォンの為、カメラ・オーディオ機能に関しては自信の一台です。また、他社携帯より「乗り換える」お客様には「キャッシュバック」の特典付きです。皆様のご来店を心よりお待ち致しております。(谷口 清流)



NEW SMARTPHONE  
Xperia Z3

SoftBank ソフトバンク 香春口店

福岡県北九州市小倉北区江南町3-1 内山第27ビル1F

お気軽にお電話ください

Tel.093-951-3266 [営業時間] 10:00~19:00

## ディナーショー 1月 in アサノパティオ



トリオカナリ  
MEMBER

フルート ギター コントラバス  
柴田有紀 永吉公道 北崎千代佳

九州を中心に活動しているギタリスト・永吉公道とフルーティスト・柴田有紀が新しい音を目指してアンサンブルを組む。

カナリのネーミングの由来は、きっかけとなった会場から臨む糸島富士と呼ばれる加也山(かや山)から。

2013年3月に、永吉の声かけによりベースの北崎が参加し、トリオとなる。クラシックで培ったテクニックを元に、ボサ・ノヴァやサンバ、ビギンなどのリズムを取り入れたオリジナルの音作りに取り組んでいる。

北崎千代佳プロフィール

東京芸術大学付属高校及び同大器楽科卒業。コントラバスを吉浦勝喜、永島義男の両氏に師事。第29回北九州芸術祭、第4回北九州国際音楽祭に出演。1998~2010年、響ホール室内合奏団に所属し、2度の英国公演や韓国国際音楽祭への出演、和歌山・東京を行く。2003年北九州市民文化奨励賞を受賞。ベルリン国際映画祭招待作品=映画「千年火」の音楽を担当すると同時にコントラバス奏者役で出演。2005年に開催された同映画祭にて舞台挨拶と演奏を行う。

新宮町文化振興財團理事・春日市音楽の玉手箱登録音楽家  
ティケイティング、サウンド楽器音楽教室 講師・YAMAHA管弦打九州委託契約講師  
Good Sing! Wind Band 顧問・九州工業大学管弦楽団、アンサンブル リーベトレーナー

2015.1.22 木 デザート・フリーツも  
食べ放題!!

1st stage.

開場 17:45(dinner)  
演奏 18:30~19:30

2nd stage.

開場 19:50(dinner)  
演奏 20:30~21:30

バイキング形式 6,000円

[ディナー・ドリンク・ショー・税金・サービス料金込]

・3drink(ビール・ワイン・ソフトドリンク)付き

Bee-Rest & Karaoke ASANO 浅野3丁目3-28

Patio Tel.093-533-1888  
Fax.093-533-7307

\*無料駐車場(アサノパティオ立体駐車場)をご利用下さい。

## 梅ヶ枝餅パーティー!

先日、入居者様(占部様)息子様夫婦が施設内にて、梅ヶ枝餅を焼いて下さるとの事。皆様、目の前で、粉をこねて、アンをつめて、焼く。とても珍しそうに見学されてました。

とても仲の良い夫婦。息がピッタリ。愛情のこもった、梅ヶ枝餅が、どんどん焼きあがってます! 美味しそうな香りが、エレベーターの中まで。焼き立ての梅ヶ枝餅を皆様、美味しそうに召し上がられました。柔らかく、甘すぎず、丁度良い大きさ。あまりの美味しさに2個食べられる入居者様もおられました。



2階入居者様、3階入居者様、大集合。やっぱり最後はカラオケ大会! 美味しいものを食べて、大好きなカラオケ。「今日は本当に楽しかった~」と一言。大満足の入居者様でした。(江里口 誉次)



さわやか  
すみよしかん  
住吉館

大阪府大阪市

## ・マグロの解体ショー



お誕生会にてマグロの解体ショーを行いました。マグロ解体って凄いですね。見る機会があまりない人には、刺激的だったのではないかでしょうか。改めて見るとマグロは大きいですねー! 迫力満点です! 徳田エリアマネージャーにも参加して頂きました! 大物獲ったどーおー。また来年も開催予定です!(原田 学)



さわやか  
むなかたかん  
宗像館

福岡県宗像市

# さわやか だより

各施設からのお便りを  
集めました!



## 交流会!

さわやか  
さくらかん  
桜館

秋田県仙北市

桜館にとてもかわいらしいお客様がやってきました。角館幼稚園の園児さんたちです。入居者様達は、この日を楽しみにお待ちしていました。園児さんは、歌とお遊戯を披露してくれました。とてもかわいらしく、入居者様もとても大喜びです。おおいに笑って楽しまれました。なかには、あまりの感動に涙を流された入居者様もありました。



最後に、園児の皆さんからかわいらしいプレゼントを頂きました。さっそく、フロアに飾りました。幼稚園で採れたさつまいもも頂きました。桜館からも、園児の皆さんひとりひとりに、今大人気の妖怪ウォッッチの折り紙をプレゼントして、園児の皆さんも喜んでくれました。入居者様は、興奮冷めやらぬご様子で、フロアに戻ってからも、「めんけがったな」と会話に花を咲かせておりました。角館幼稚園の園児の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。(石田 展之)



## 避難訓練!!



火の用心!マッチ1本火事の元!ということで避難訓練を実施しました。台所から出火、すばやく消防署へ連絡します。実際の火事や災害ではパニックにならない事が大切です。日頃から、避難訓練を真剣に行うことで避難経路の安全を確認できます。



火事では煙が何よりも危険です。煙が充満したことも想定して声をかけて誘導します。車いすも使用して避難します。本日は前回よりも時間の短縮ができました。日頃から火事の意識を高めて行きたいと思います。

(金井 有三)



## 相撲部屋見学。



春日館の近くにある(元大関・琴風の)尾車部屋に行つてきました。朝の8時からお邪魔させて頂いて見学させて頂きました。迫力がとてもすごかったです。入居者様も生の相撲稽古を真剣に見られていました。

また来年もお願いします。(水頭 渉美)



## 誕生日会inアサノパティオ・

アサノパティオでの11月度誕生日会があり、清田館もご入居者様と一緒に参加しました。オシャレをした鎌田様素敵ですね。内山社長とご対面、ビールで乾杯、御馳走いっぱいです。11月に誕生日を迎えた方のお祝い。ケーキ頂きます。楽しい時間を過ごすことが出来ました。(小西 博美)



## ・大運動会!



第1回さわやかなんよう館大運動会を開催いたしました。当日は、利用者様も職員も朝からヤル気満々で闘志がみなぎっていました。各フロアごと赤組・青組・黄組に分かれての真剣勝負!応援合戦では一人ひとりが大きな声を出し、身体を動かし、活力が溢れていきました。パン食い競争では思わず手を使ってしまう利用者様も見られ「なかなか難しいモンだなあ」と一言。ご家族様も助っ人に入つて頂きました。お子様たちも職員に混ざってLet's Dancing!注目の的でした。



全ての競技が終わると待ちに待った表彰式です。順位発表。各委員会から特に活躍された利用者様を表彰させていただくと、感極まり涙ぐまれる方もおられました。楽しかった運動会はあっという間に終わってしましましたが、笑顔と歓声の絶えない素晴らしい1日となりました。(上原 梨枝)



[ウチヤマグループ代表] 内山 文治

# Message from President

ドイツ研修旅行にて

今年も十月二十八日から十一月一日にかけてエクシング主催の海外視察旅行に参加し、ドイツのベルリン、ミュンヘンを訪れました。観光地として世界的に有名なノイシュバンシュタイン城やヴィース巡礼教会など、美しい自然と歴史的な建物が見事な調和をなした素晴らしい景色には、思わず息を呑むほどたいへん感動しました。しかしその一方、第二次世界大戦の傷跡を示す史跡の数々を訪れた際には、深く考えさせられた場面もありました。

アドルフ・ヒトラーが率いるナチス党政権下のドイツにおいて、主に反体制派を収容するために造られたのが「強制収容所」と呼ばれる施設で、ミュンヘン郊外にあるダッハウ収容所が第一号と言われています。その後、ユダヤ人、ジプシー、同性愛者など「ナチスにとつて社会に不適合」な人間も収容さられるようになりました。

第二次世界大戦になると、収容所の数も収容者も増加します。ドイツの戦況の悪化とともに収容者の待遇は悪化し、多くの人々が処刑、拷問、病気、飢えなどによつて命を落としました。

私たちが訪れたのは、「ザクセンハウゼン強制収容所」という、ナチス・ドイツが首都ベルリンの北部ブランデンブルク州オーラー・エンブルクに設置した施設です。一九三六年に設立されたこの収容所の敷地の総面積は五十七万四千七百五十坪と広大で、ドイツ国内では最大規模です。収容された囚人の数は、一九三七年頃には、一千三百人。第二次世界大戦開戦時には、一万人を超えて、さらに大戦末期には約四万七千人を超えていました。最終的にこの収容所に送り込まれた人々の総計は、約二十か国二十万人を越えるといわれています。

この強制収容所においても、ナチス・ドイツによる虐殺が繰り返し行われていました。死刑宣告を受けた人々は、夕方、全囚人が集まる点呼の際に、見せしめのために公開絞首刑に処されました。また、「Z施設」と呼ばれる隠れた処刑場も存在し、ここでナチス・ドイツによる秘密裏の処刑・虐殺、そして、人が生きたまま解剖される生体実験やガス実験などが行われていました。虐殺が行われた数々の施設や収容された人々が生活していた建物を見学していく間中ずっと、私は体が重くなるような不思議な感覚に襲われました。多くの亡くなつた人々の魂がこの収容所に漂つているような気がしたのです。

収容所の門を出てから振り返つて一礼すると、体の重みがスースと抜けて軽くなりました。改めて平和の尊さ、平和を守ることの大切さを強く再認識しました。

第二次世界大戦下でアウシュビツ強制収容所に捕らえられ、過酷な体験を経て生き延びたヴィクトール・フランクルによる名著「夜と霧」によると、極限状態で生死を分けたのは、「未来への希望」だったそうです。クリスマスに解放されるといううわさが収容所内で広まつた後、その期待が裏切られたときに急に力尽きてしまう人が多かつたのです。しかし対照的に、収容所の中で演芸会を催して音楽を楽しんだり、美しい夕焼けに心を奪われたりしながら、どんな状況においても人間らしさを失わずに、未来を信じて生き続けた人々もいました。フランクルはそのような光景を目撃したりにして、人生には三つの価値があることを考察しています。

一、創造価値：人間は活動を通じて創造を行うことができる。仕事の大小ではない。人の喜びを造つて行くプロセスに意味を見い出す。

あなたを待つている何かを見つけて実現すること。

二、体験価値：人間は自然や芸術に触れ感動を体験することができる。心震わす体験。「あなたが経験した」とは、この世のどんな力も奪えない

三、態度価値：人生にどう向き合うか？人はあと少しの命であるとしても、どのような態度をとるかによって、人生を変えることが出来る。どんなに自由を奪われても、それに向き合う態度を決める自由がある。

現代社会に生きる私たちに対しても、このフランクルの教訓は時を超えて人生についての本質的な価値を教えてくれていてるような気がします。戦時に迫害を受けたユダヤ人や、敗戦直後の日本で貧しい生活を強いられていた人々に比べると、物質的にも精神的にもはるかにゆとりのある生活を送れるはずの現代の人々が、うつ病に悩まされたり自殺に追い込まれたりするは、人生の中に意味を見出せなくなつてはいるからではないでしょうか。幸福を感じ取る力を持てるかどうかは、人生への向き合い方で決まるということを、今回の視察で改めて感じました。

またベルリンといえば、かつて東西ドイツの分裂の象徴としてそびえ立つていた「ベルリンの壁」が有名です。



ドイツが第二次世界大戦で降伏した際、アメリカ・イギリス・フランスが占領した西ドイツ（資本主義）と、旧ソ連が占領した東ドイツ（共産主義）に分断されました。社会主義国となつた東ドイツは、西ドイツに比べて自由がなく、西ドイツへと亡命する人々が後を絶ちませんでした。特に自営農民や優秀な技術者の頭脳流出は東ドイツに大きな打撃を与えました。東から西へと国民が大量に流出するという事態を重く見た東ドイツは、自國を守るために、一九六一年に東西両ベルリンの間にコンクリートブロックを積み上げて壁を築き、東西ベルリンの交通を遮断したのです。一九八九年にその壁が破壊されるまで、人々は東西ドイツを自由に行き来することも許されず、亡命するために壁を乗り越えようとして命を落とした人も多数いました。ベルリンの壁が崩壊した後は、東西両ドイツの国境は事実上なくなり、東西ドイツの統一が加速しましたが、ベルリンの壁は現在もいたる場所で壁跡が残つており、歴史的文化財となっています。第二次世界大戦では、日本の同盟国としてともに戦争に敗れた経験を持つドイツですが、日本の戦中戦後とはまた違う激動の歴史があつて、今日のドイツがあるということを、現地を訪れることが肌で感じることができました。

現在は日本も平和な時代となり、素晴らしい仲間と楽しく仕事ができていることに幸せを感じていますが、私が生まれた頃は日本もまだ戦時中で、今のような時代が来ることは想像もできませんでした。戦争を知らない若い人たちの多くは、平和であることを当たり前に感じ、生活していますが、百年も満たない過去に悲惨な出来事が起きていたことを、決して忘れてはいけません。

現在でも世界を見渡すと多くの紛争地域が存在し、多くの人々が武器を持って戦っています。ウチヤマグループが支援しているNPO法人「TFA・ルネッサンス」が活動する地域では、子供たちが兵士として戦争に駆り出され、体や心に傷を負つて暮らしています。誘拐されて武器を持たされ、人殺しを命じられているかわいそうな子供たちが今でも多くいるそうです。紛争の原因の多くは、先進国で使われる貴重な資源・貴金属等の利権争いで、産出国の貧しい人々が巻き込まれて犠牲になつています。戦争の経験を持つ日本人として、過去の歴史や現在の世界の動きをしつかりと学び、戦争のない世界を築くためにできることを一人ひとりが考えていきましょう。



ドイツが第二次世界大戦で降伏した際、アメリカ・イギリス・フランスが占領した西ドイツ（資本主義）と、旧ソ連が占領した東ドイツ（共産主義）に分断されました。社会主義国となつた東ドイツは、西ドイツに比べて自由

がなく、西ドイツへと亡命する人々が後を絶ちませんでした。特に自営農民や優秀な技術者の頭脳流出は東ドイツに大きな打撃を与えました。東から西へと国民が大量に流出するという事態を重く見た東ドイツは、自國を守るために、一九六一年に東西両ベルリンの間にコンクリートブロックを積み上げて壁を築き、東西ベルリンの交通を遮断したのです。一九八九年にその壁が破壊されるまで、人々は東西ドイツを自由に行き来することも許されず、亡命するために壁を乗り越えようとして命を落とした人も多数いました。ベルリンの壁が崩壊した後は、東西両ドイツの国境は事実上なくなり、東西ドイツの統一が加速しましたが、ベルリンの壁は現在もいたる場所で壁跡が残つており、歴史的文化財となっています。第二次世界大戦では、日本の同盟国としてともに戦争に敗れた経験を持つドイツですが、日本の戦中戦後とはまた違う激動の歴史があつて、今日のドイツがあるということを、現地を訪れることが肌で感じることができました。

現在は日本も平和な時代となり、素晴らしい仲間と楽しく仕事ができていることに幸せを感じていますが、私が生まれた頃は日本もまだ戦時中で、今のような時代が来ることは想像もできませんでした。戦争を知らない若い人たちの多くは、平和であることを当たり前に感じ、生活していますが、百年も満たない過去に悲惨な出来事が起きていたことを、決して忘れてはいけません。

現在でも世界を見渡すと多くの紛争地域が存在し、多くの人々が武器を持って戦っています。ウチヤマグループが支援しているNPO法人「TFA・ルネッサンス」が活動する地域では、子供たちが兵士として戦争に駆り出され、体や心に傷を負つて暮らしています。誘拐されて武器を持たされ、人殺しを命じられているかわいそうな子供たちが今でも多くいるそうです。紛争の原因の多くは、先進国で使われる貴重な資源・貴金属等の利権争いで、産出国の貧しい人々が巻き込まれて犠牲になつています。戦争の経験を持つ日本人として、過去の歴史や現在の世界の動きをしつかりと学び、戦争のない世界を築くためにできることを一人ひとりが考えていきましょう。

## 感謝の気持ち

私達は、食事を始めるとき「いただきます」と言つて手を合わせます。皆さんには、この言葉の本当の意味を知っていますか。「いただきます」というのは、「あなたの命をいただきます」という食材への感謝を表わした言葉です。

以前、ある友人が「いつの話でした。小学校の子どもを持つお母さんからその方に相談があつたそうです。「私の家は、ちゃんと給食費を支払っているのに、学校の先生はうちの子供に『いただきます』を言つよう強制するのです。やめさせてもらえないのか」といふ相談です。皆さんはどう思いますか。私の友人は、最初何を言つて理解できなかつたそうです。私たちは、魚・肉・果物・野菜などの命を頂いて生きています。「いただきます」「ありがとうございます」という言葉は、金銭的な授受とは何の関係もない、「あなたの命をいただきます」という意味での命に感謝する言葉です。「感謝」して生きることができます。だからこそ、それはその人の人生の豊かさそのものに関わつてきます。そして、生かされていることに感謝することができる人の人生観は、社会貢献をしたいという目標を求めるようになります。

先月アメリカ研修旅行の報告で、Teach For America（以下 TFA）といふ、ニューヨーク州に本部を置く教育NPO法人を紹介しました。貧困などで教育困難な地域や重大な教育格差が生じる地域に対して、格差や不公平を改善する目的で発足され、優秀な大学の卒業生を約二年間、国内各地の教育困難地域にある学校に、常勤講師として赴任させるプログラムを実施する素晴らしい法人です。そして、毎年多くの一流大学を卒業する学生が、社会貢献できる企業・自己成長できる企業で働くことを願つてTFAに入社します。優秀な学生たちは勿論たくさん勉強します。勉強すればするほど、「ギブ・アンド・テイク」という打算的な考え方から「ギブ・アンド・ギブ」という社会貢献を求めることが実証されているのではないでしょうか。

十一月二十三日（日）の朝日新聞に、愛媛県の老人保健施設で入居者への虐待（傷害）容疑の為、施設のパート職員（二十五歳・女）が逮捕されるという、非常に残念な記事が掲載されました。このパート職員



員は入居者（八十九歳）の髪の毛を引き抜き、軽傷を負わせた疑いが持たれています。また、別の入居者（七十九歳）の腹部には刺された傷跡が複数見つかっており、捜査中とのことです。」このような記事を見ると、とても悲しい気持ちになります。

一九四五年、日本は建国以来初の敗戦を経験し、国土は焦土と化しました。私は敗戦当時四歳だったので、敗戦後の生活をよく覚えています。通学していた小学校では、半分以上の子供が靴を持つておらず、裸足で通学していました。給食費がないので、昼食が食べられない子供も多かったです。私も、いつも甘いものに飢えていて、クリスマスに教会で神父様からもらつたチョコレートの味は一生忘れることができません。焦土と化した国、食べるるものもない生活、そんな中でも私たちの大先輩方は絶望しませんでした。寝食を忘れて働き、日本は數十年で経済大国と呼ばれる程の成長を成し遂げたのです。私達には、日本を平和で豊かな国にしてくれた大先輩方に感謝を伝える義務があり、大先輩方の尊厳をお守りするという使命があることを忘れてはいけません。

最近はうれしいニュースもたくさんあります。

ウチヤマグループ初の海外出店として、タイのバンコクに「かんてきやスクンビット店」を十一月十八日に無事オープンすることができました。海外に会社を設立することも、現地で従業員を雇うことも、すべてが初めてのことでの手探りのなか、歌野社長、森常務が中心となつて一生懸命に準備を進めてくれ、その意気込みに多くの取引先や金融機関も進んで協力を申し出くださいました。それでもオープンまでは蓋を開けてみなければ分かりないことが多く、毎日祈るような気持ちでいましたが、神様もきっとその頑張りを見ていたのでしょう、おかげさまで順調なスタートを切り、初日から多くのお客様に来店して頂いています。

また、十二月一日には、北海道室蘭市に介護付有料老

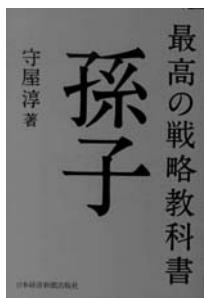
人ホーム「さわやか室蘭館」を開所することができました。北海道では「さわやか東神楽館」に次いで二番目の施設となります。東神楽館を開設した際には、町長をはじめ行政の関係者による熱心な誘致を受け、遠く九州から赴いた事業者を温かく迎えてくださいました。行政からの誘致による介護施設の開設は全国でも数少なく、当社としても初めてのケースでしたが、自治体から色々な形で支援して頂いたおかげもあって今では満床となり、夏祭りを毎年盛大に開催するなど、地元の方々と心の通う交流が行われています。



今回の室蘭館は、東神楽館の成功事例をしつかり見て頂いた上で室蘭市からの誘致を受けて計画がスタートしました。計画当初から地元の方々の大きな期待を受け、行政からも全面的にバックアップして頂いていることを、たいへん心強く感じています。開所直前の十一月二十六日には、全国で三番目に若い市長である室蘭市の青山市長も視察に来られ、今後の地域貢献に期待する言葉を頂きました。そして、開所した初日には一日で十六名の方が入居され申込み総数は六〇名、十二月の一ヶ月で四〇名を超える入居が見込まれています。順調なスタートを迎えたことに、改めて支えて下さっている皆様に感謝の気持ちが深まります。

ウチヤマグループは、本当に多くの方に支えられてここまできました。しかし、現状を決して当たり前のことと思わないで下さい。お客様・取引業者の皆様、仲間、家族、そして仕事に感謝して、これからも多くの方に喜んで頂けるサービスを提供していきましょう。

今月の  
オススメ図書



- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 最高の戦略教科書「孫子」<br>(守屋 淳)              |
| 2 | 一隅を照らす生き方<br>(神渡 良平)                |
| 3 | なぜ、一流の人は「疲れ」を翌日に持ち越さないのか(裴 英珠)      |
| 4 | 心のなかの幸福のパケツ<br>(トム・ラス・ドナルド・O・クリフトン) |
| 5 | 日本でいちばん大切にしたい会社<br>(坂本 光司)          |

- |    |  |
|----|--|
| 6  | 涙が出るほどいい話(第6集)<br>(「小さな親切」運動本部)            |
| 7  | 念に生きる<br>(坂村 真民)                           |
| 8  | マッチうりの少女<br>(アンデルセン 作 いもとようこ 文絵)           |
| 9  | おやゆびひめ<br>(アンデルセン 作/北見 葉胡 絵)               |
| 10 | サンタクロースのいそがしい日<br>(ジュリー・サイクス 作/ティム・ワーンズ 絵) |



## K様のご家族からの感謝状

さわやか住吉館のスタッフの皆様、いつも父が大変お世話になります。ありがとうございます。さわやか住吉館に入居させて頂き3週間になります。

父は昨年の12月に脳梗塞で倒れました。病院に運ばれ、脳の一一番太い血管が詰まりとても危険な状態でしたが、一命を取り留めました。今は脳の1/3程しか残っていない状態です。後遺症で左半身まひとなり、話すこともできなくなりました。

病院では約3カ月間入院し、鼻からのチューブで栄養を取り、口からの食事は不可能だと言われ胃ろうをするように勧められました。家族としては何とか口から食べさせてあげたいとの思いでも少し様子を見させて頂きたいとお願いしました。リハビリを重ね、ようやく口から食べられるようになりました。

その後リハビリのため、2月に別の病院に転院して5カ月間、言語療法、歩行訓練、作業療法をしていました。その頃から特に怒るといった感情が強く出てきて、看護師さんをたたいてしまったりというようになりました。脳梗塞をおこす前は本当に優しい人で、愚痴や小言を一切言ったことがなく、孫のことを可愛がってくれるような人でした。なので、すごく怒ったり、手をあげたりとは家族もびっくりして信じられない思いです。

5カ月間リハビリ入院したのち、病院の紹介でサービス付高齢者向け住宅に入居しました。3カ月間いましたが人の接触もほとんどなく、父が暴力をふるうのでトイレでの介助はできませんと言われ、トイレでの排泄もできなくなりました。

食事以外は1日ベッドの上で座らせてもらえることがなく、歯磨きもなく、舌の上に苔がはりついている状態で、このままだと本当に父は寝つきになってしまふと思いました。少しでも父の刺激になるような所へと思い、他の施設を探すことになりました。ある介護施設に体験に行き、断られました。原因は特定の方に手をあげるとの理由でした。そんな中、さわやか住吉館の方にこれまでのことを話すと真剣に聞いて下さり、「手が出ることはきっと何か原因があるはず」と父の行動を言うのではなく心のことを見て下さいました。そして何度も父のいる施設に足を運んで、父に話しかけて頂きました。

さわやか住吉館に来てからは心温まることばかりで、父の劇的な変化も見られました。色を塗ることができたり何よりも自分の名前を書いたことに本当に驚きました。自分から何かを伝えよう、喋ろうとする意志まで感じます。出来なかったことが出来るようになるのも、スタッフの方が本当に一生懸命にして下さっているおかげだと思います。

まだ父が時々手を出すこともあるようですが、住吉館のスタッフの皆様は「コミュニケーションなので大丈夫ですよ」と言ってくださいます。頭が下がる思いです。食堂などいろいろな方達のお話を聞いているだけでも父にとっていい刺激になっているようです。おだやかに日々過ごせて、笑顔がたくさん見れば嬉しいことだと思います。

施設長様はじめさわやか住吉館のスタッフの皆様、父に愛情を注いで下さり、一生懸命介護して下さり、家族一同本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも沢山のご迷惑をおかけすることと思いますが、そのたびに家族でも話し合いをして、父にとって良い方向に進んでいければと思っています。これからもどうぞ宜しくお願ひ致します。

# さわやか住吉館 症例発表会

大阪市にあるさわやか倶楽部の介護付有料老人ホーム「さわやか住吉館」では、船井総合研究所の橋本和樹先生の指導のもと、施設での受け入れが一般的に困難とされるお客様の積極的な受け入れと状態の改善に取り組んでいます。実際に受け入れを実施して改善が見られたお客様からは、感謝のお手紙も届いています。さわやか倶楽部では今回の成功事例をもとに、他の施設でも同様の取り組みを進めていきます。



## 症例発表会レポート

10月8日にK様のご家族様が来館され、相談を受けました。K様は脳梗塞を発症され病院に入院し、その後リハビリ期間を経てサービス付高齢者住宅に入居されたとのことです。そこでK様による介護スタッフへの他傷行為があり、施設側から退去のお話が出ており、行くところを探しているとのことでした。そこで一度ご家族様、施設側にアセスメントを行いましたが、その時には全く他傷行為の兆候も見られず、アセスメントに伺った職員に対し、握手をして下さいました。

施設に戻ってケアマネジャー、生活相談員、介護主任、介護リーダーで会議を行いました。そこで全員が「何とかご家族様の気持ちを受け止め、K様が安心できる暮らしを住吉館で実現したい」との思いで入居の受け入れを決め、ご家族様に連絡しました。ご家族様も大変喜んで下さり、またその笑顔を見て我々職員は更にその気持ちに応えたいと奮起しました。

まず初めに行ったのが、情報の抽出と課題の整理でした。「やしさを伝えるケア」と名付け、K様専用のマニュアル作りを進め、それを基に職員研修を実施して、対応方法の統一化を行いました。その「やしさを伝えるケア」で、現在は出来ることが増え、短期間での機能の向上に成功しました。

今回はその成功体験を地域の病院や居宅支援事業所等の関連機関の皆様、地域の皆様にお伝えしたく、症例発表会を実施しました。参加して下さった皆様からも、「すごく丁寧な対応が素晴らしい」「同じ様なケースの方が入居しているので、是非参考にしたい」「優しい職員でいい施設ですね」とのお言葉を頂戴いたしました。

さわやか住吉館ではこの症例発表会を通じて、職員の技術やモチベーションが向上し、「何事も挑戦」という気持ちが強く芽生えています。この様な出会い、体験をさせて頂いた事、K様やご家族様に本当に感謝の気持ちで一杯です。これからも皆様との一つひとつの出会いを大切にし、入居されるご本人様、ご家族様、関わる全ての皆様が笑顔になれるような【やしさが溢れる場所】で在り続けられるよう、職員一同日々精進してまいります。これからも宜しくお願ひいたします。

さわやか住吉館／副施設長・田平 圭一

# Happy Wedding

結婚おめでとう

大平 宏幸さん(副主任)

& 亮子さん  
(旧姓・進藤/事務職)

北海道・東神楽館からヘルプとして新居浜館に来ました。当初は1ヶ月で帰る予定が、2年後にまさかこんなことになるとは夢にも思いませんでした。人生のパートナーを見つけました!! 新居浜を第2の故郷とし、北海道より暖かいこの地で、文字通り暖かい家庭を築いていこうと思います。今後とも、よろしくお願ひいたします。

さわやか新居浜館/大平 宏幸



## Welcome, Little Prince!



我が家の王子様  
小玉 愛翔くん

平成26年 10月20日生まれ

生まれた時は46cmと小さな子でしたが、日に日に大きく成長していく姿を見守る楽しさがあります。愛情いっぱいに注ぎ育っていくように頑張ります。

★らいがくんのパパ  
さわやかなんよう館  
副施設長・小玉 知一



## 天理教

# 勉強会

11月14日(金)、本社に天理教の増田正義先生をお招きして、勉強会を開催しました。本社や介護施設の社員、取引先の方々など、遠隔地のWEB会議での参加も含めて約200名が受講しました。「ものの見方、考え方」というテーマで、ご自身の様々な体験をもとに、幸せの感じ方、心の持ち方にについて約70分間講義をして頂きました。勉強会の後はアソノパティオに会場を移して、食事を兼ねた懇親会を開催しました。



## 第22回特別講演会

予告

2015年 2月5日(木)

第一部 講演会

[時 間] 午後6時~7時30分(開場午後5時)

[会 場] ステーションホテル小倉 5階・飛翔の間

[講 師] 法政大学 大学院政策創造研究科教授/坂本光司氏

[テーマ] 日本で一番たいせつな会社とは

[参加料] 2,000円

●申込・問い合わせは講演会事務局まで

☎ 093-531-0966 (担当:小橋)



□□□-□□□□

## おたよりのご紹介

お客様からいただいた  
素敵なおたよりをご紹介致します!

### さわやかいすみ館

先日は思いのけで母の写真等送って頂き、本当にありがとうございます。嬉しかったです。いすみ館での生活に少し慣れてきているようで安堵しました。

甘木の実家には女手がなく何かとご不便をおかけすると思います。私もなるべく見舞いに多く行きたいと思っています。母のこと、何卒よろしくお願ひいたします。また行事等ありましたら写真を送って頂けると助かります。職員の皆様の上に神様の祝福があります様、お祈りいたします。  
(千葉県船橋市・田上様より)



### コロッケ俱楽部 中城店

利用して2ヶ月になりますが、おださんに始めに会つて、「よし通うぞ」と決めました。スタッフの皆さん、常に明るい笑顔で迎えてくれますので、元気が出てその日一日が楽しく過ごせます。スタッフの皆さんありがとうございます♪(沖縄県那霸市・金城様より)



### コロッケ俱楽部 北谷店&うるま店

北谷店、うるま店の方々は皆真面目で素晴らしい!隔週で朝からヒトカラを利用したり、平日の夜や飲み会の2次会でほぼ毎月必ず利用させて頂いておりますが、接客を笑顔で優しくしてくれる方々ばかりで非常に居心地が良いです。アルバイト、社員関係なく一生懸命さが伝わってきて元気ももらえます。食事も料金も手頃で、まさかカラオケ店で飲み屋のように行きつけができるとは思っていませんでした。本当にいつもありがとうございます!!  
(沖縄県沖縄市・肥後様より)



### コロッケ俱楽部 北谷店

店長さんははじめ周りのスタッフがすごく良いです。本当にいつも利用していますが、店長さんははじめスタッフがすごくサービスがよく、笑顔も素敵で、イヤなことがあっても北谷店に行くと良い気持ちになります。一度別のカラオケ店に行きましたが、店員さんの質が全然違うと思いました。これからも素敵な店舗でいてください。(沖縄県読谷村・我謝様より)



### コロッケ俱楽部 佐賀駅前店

いつ来た時でも、うこんさんとそえじまさんがいてくれます。ここは安らぎの場所です。頭の手術をして右の麻痺が残ってカラオケもリハビリの一つなので、言語障害にいいと頑張っています。本当にありがとうございます。(佐賀県佐賀市・西村様より)



## さわやか相談室

お気軽にどんなことでもご相談ください。お電話、メールお待ちしております!

一人で悩まない!  
あなたの悩み  
話してみませんか?

電話番号

メール

090-9497-5764  
sawayakasoudan@softbank.ne.jp

